

令和7年度
協働のまちづくりチャレンジ事業
成果発表会



一般部門

「月経がつらいのはあたりまえ？」
「助産師まきさんの大切なあなたのことを話そう」
「あいこさん思春期ってなにですか？」

① 団体紹介

メンバー：5名 設立：2024年4月

団体の理念：SDGs目標5
「ジェンダー平等を実現しよう」

ジェンダーに基づく思い込みや偏見が生み出す課題

「女の子はこうあるべき」「男の子はこういうもの」というジェンダーに基づく思い込みや偏見は、何かに挑戦する気持ちを阻み、不平等を生み出します。

不平等は、差別や暴力を受けるリスクを高め、人生の選択肢を狭めます。

私たちが見出した解決策：包括的性教育

- 人権をベースとし、ウェルビーイング（心身ともに健康で持続的に幸福な状態）の実現を目指す
- 生殖や性交だけでなく、人間関係を含む幅広い内容を体系的に学ぶ教育
（性的同意、性の多様性、ジェンダー平等、コミュニケーションなど）

まずは、ここ、金沢で、「包括的性教育」をじわじわと広めたいと考え、令和6年度、令和7年度チャレンジ事業に応募しました。

③ 実施の成果

参加者数

8月23日「月経が辛いのはあたりまえ？」：12名

9月28日「助産師まきさんの大切なあなたのことを話そう」：17名

1月10日「あいこさん思春期ってなにですか？」：会場15名＋オンライン25名

YouTube録画配信：83回視聴

実施効果・参加者の声

アンケート結果：すべてのイベントで「満足」「とても満足」の評価

- 月経や医薬品・制度について知見を深めることができた
- 自分が育ってきた時の情報が適切でなかったことを知り、伝えていきたいと思った
- 一人一人が大切な存在だということ、お互いを大切に思う気持ちを感じた
- 友だちや家族など人との距離について改めて考えることができた
- 親子で体の話をするきっかけとなった。実験みたいで楽しかった

事業を通しての課題・反省点

より多くの方に参加いただくための広報方法の工夫が必要



境界線と同意を考えるワークショップ

こころのけんり、からだのけんり

じぶんおうこくをつくろう!!

きみは自分の国（心と体）の国王ってことなんだ！
心の中をのぞいて、どんなエリアがあるかしらべて、
「じぶんおうこく」のマップを作ろう！

④ 市との協働について

協働先：金沢市ダイバーシティ人権政策課

うまくいったこと

- チラシをたくさんの場所に送付することができた
→「学校からのチラシで知った」という参加者が初めて現れた
- 金沢市の広報で告知することができた
- 担当課・土肥さんのご提案で、YouTube等SNSの発信のアイデアをいただいた
→録画撮影に挑戦（2回失敗、3回目は撮影を委託）
→サポートセンター石川先生から教わった方法でYouTube配信に成功
→2週間で83回の視聴

課題を感じたこと

昨年度に引き続き協働課としてお世話になりました。ありがとうございます。
YouTubeの配信で視聴数を伸ばすには、今後どうしたらよいのかまた一緒に考えていただけると助かります。

⑤ 今後の展望

継続して包括的性教育を金沢で広めていきます

私たちの強み

- 包括的性教育に関する本・絵本を所持している
- ナプキンワークを展開できる機材を持っている
- わかりやすく説明ができるメンバーがいる

これからの活動

- 講座・ワークショップの継続的な開催
- 本や絵本、機材を活用した多様な学びの場の提供
- より多くの世代・地域への包括的性教育の普及

ご清聴ありがとうございました